

人・地球・水環境

月刊下水道

JOURNAL OF SEWERAGE, MONTHLY

May, 2025

5

VOL.48 No.6

特集 強靱な社会をつくる日本の管路資器材

- 「強く」て「しなやか」なヒューム管
- 腐食環境など厳しい使用条件下で性能を発揮する合成管
- EeTAFCON製資器材の特徴と選定のポイント



■ 施工レポート
SSL-L, V工法の
可能性にかけて



<http://www.gesuidou.jp/>

■ 特別企画
「水循環」と企業の役割

「水循環」と企業の役割

水循環 ACTIVE

市民目線でめざす 民官学産協働の 水循環・水辺環境の向上

中日本建設コンサルタント(株)

1 堀川1000人調査隊参加の概要

名古屋の母なる川「堀川」は、名古屋市の中心市街地を流れる都市河川（感潮区間を含む）です。堀川の水質浄化は、堀川の水質浄化センター（合流式下水道）からの放流水と庄内川からの導水（暫定）などです。「堀川1000人調査隊」は、この堀川のさらなる水質浄化を願い、社会実験（木曽川からの導水）や、名古屋市の新たな水質浄化施策の効果を市民

目線（市民の視点と感覚）で調査し、結果の整理を行い、これをもとに民官学産協働ステップアップ型パートナーシップ（図-1）で堀川の水質浄化・再生の早期実現を目指して活動をしている市民団体です。

当社は身近な存在である堀川（図-2）における堀川1000人調査隊の活動に賛同して、堀川での水質定点観測、自然観察（生き物、自然現象）、沿川の路上清掃を実施しています。

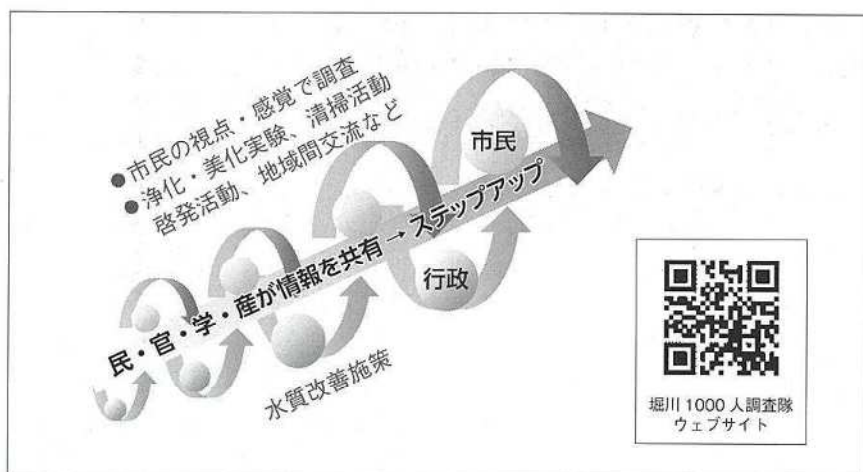


図-1 堀川1000人調査隊 民官学産協働ステップアップ型パートナーシップ

2 市民目線で体感する 水循環・水辺環境

当社の活動内容をご紹介します。当社では堀川アンバサダー（認定：水辺とまちの入口研究所）、自然観察指導員（認定：（公財）日本自然保護協会）の社員を含む下水道・河川技術者がコアメンバーとなり、活動を運営しています。

(1) 新入社員研修

当社の活動は、新入社員研修において、江戸時代に堀川が開削され、名古屋城が築かれ、そこに形づくられた名古屋のまちづくりと水利用の歴史を学ぶとともに、今の堀川の水の循環を知ることから始まります。

実施時期：4月実施

実施場所：堀川クルーズ（宮の渡し～納屋橋間）の船内

(2) 水質定点観測

堀川1000人調査隊の水質定点観測のプログラムに参加して、一般的な物理・化学的な水質調査とは異なる「水の汚れの印象(きれい～きたない)」「色(快適～不快)」「におい(におわない～ひどくにおう)」などの市民目線での調査をしています(写真-1)。そこで市民が感じとるそれぞれの視点と感覚に差があることを知ります。一方で多くの市民調査を積み重ねることで市民が感じとっている水質の平均的な視点と感覚の実態が数値として浮き上がってくることを学びます。

活動頻度：4月～6月：10回程度

9月～12月：10回程度

活動場所：堀川・桜橋

(当社の最寄りの橋)

(3) 自然観察

自然観察では、水質定点観測の時に見つけた生

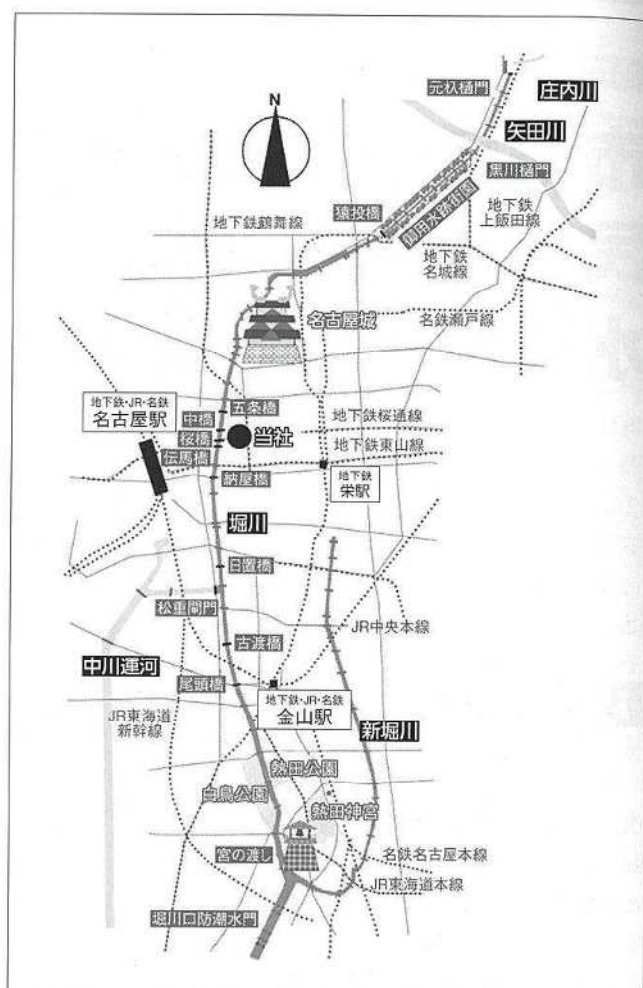


図-2 当社と堀川との位置関係



写真-1 水質定点観測

き物、自然現象などの観察・記録をしています。積み重ねられた観察の記録から生き物と自然現象の変化が感じとれます。そして、それが水の汚れの変化と関係していることを学びます。

(4) 清掃活動

当社は納屋橋～五条橋地区を中心に堀川沿川の路上清掃をしています(写真-2)。沿川の路上ごみと水面の浮遊ごみの関係、そして浮遊ごみが堀川の水の汚れの印象を悪くしていること、さらには街で捨てられたごみが堀川を流れて海洋に流れ出ていることをあらためて実感します。

活動頻度：年4回程度

活動場所：沿川の路上



写真-2 堀川沿川の清掃活動

3 今後の展開

(5) 成果報告会への参加と情報の展開

当社は堀川1000人調査隊が実施している年2回の成果報告会に参加し、社内に情報を展開しています。この成果報告会では、多くの市民が日常的にいろいろな場所、時間帯に実施した調査の結果を事務局が分析・整理をして報告がされています。また、行政(名古屋市)からも水質浄化の取組みについて説明が行われています。成果報告会では産官学民からの参加者(自由参加)が情報を共有して、堀川の水質浄化・再生の早期実現を目指して自由に意見交換をする貴重な場になっています。

堀川1000人調査隊は「名古屋の母なる川 堀川」の再生をめざす市民の願い」として、愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会に來名する皆さんへのおもてなしの心として「行政による水質改善施策の検討・実施・継続」と「木曽川からの導水」を掲げて、堀川の水循環・水辺環境のさらなる向上を目指しています。当社はこれに賛同して、この活動への参加を続けていきます。

また、この活動で得られた市民目線での経験と学びを生かして、当社のコンセプトである「100年先の人々の暮らしをイメージしたサステナブルな国土デザイン」をもとに、市民に寄り添いながら人・街・自然がいきいきとできる持続可能な社会の構築に向け、国土の未来をデザインする企業を目指していきます。